

2020年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
第1期募集 入学試験問題

( 1 枚のうち 1 枚目)

専攻名	国際学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	ヨーロッパ地域研究		

《1》以下の文章を訳せ

(M. Cristina Peccianti, *Sotie della storia d'Italia*, Marietti, Firenze, 1988, pp. 49-50)

《2》以下の文章を訳せ。

(M. Cristina Peccianti, *Sotie della storia d'Italia*, Marietti, Firenze, 1988, p. 51)

《3》N. Machiavelli の軍事観につき、その政治観との関係や同時代の軍事制度との差異を踏まえ、800字から1200字程度で記述せよ(ただしこれはあくまで目安であり、字数の上限は問わない)。

2020年度金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)

第1期募集 入学試験問題

( 2枚のうち 1枚目)

専攻名	国際学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	日本語教育学・日本語学・日本文化学		

I.用語選択問題

次のAの10問, Bの5問計15問の用語から、5問を選択して答えなさい。ただし、5問のうち少なくとも3問は、「日本語教育学」か「日本語学」を専門としたい人は「A:日本語教育学・日本語学」から、「日本文化学」を専門としたい人は「B:日本文化学」から選択しなさい。また、必ず5問選択し、6問以上選択してはいけません。

A:日本語教育学・日本語学

- (1) 話し言葉の特徴と日本語教育
- (2) イメージョン教育
- (3) 協働学習
- (4) CBI (Content-Based Instruction)
- (5) 最近接発達領域 (Zone of Proximal Development)
- (6) 継続動詞と瞬間動詞
- (7) 敬意逡減の法則
- (8) 有生(有情)性
- (9) 共鳴音と阻害音
- (10) 拘束形態素

B:日本文化学

- (11) 日本的経営
- (12) 穢れと祓え
- (13) 土居 健郎『甘えの構造』
- (14) エズラ・ヴォーゲル『ジャパン・アズ・ナンバーワン』
- (15) 『風姿花伝』

( 2枚のうち 2枚目)

専攻名	国際学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	日本語教育学・日本語学・日本文化学		

## II. 論述問題

以下の問題については、大学院で専門としたい分野に応じて、「日本語教育学」か「日本語学」を専門としたい人は「A:日本語教育学・日本語学」の4問から2問を選択し、「日本文化学」を専門としたい人は「B:日本文化学」の2問すべてに答えなさい。

なお、解答にあたっては、それぞれの問題に1枚の解答用紙を用いること。

### A:日本語教育学・日本語学

1. 日本は今後、さまざまな背景の外国人が増えることが予想されています。まずこの状況について説明しなさい。そしてこのような状況において、「やさしい日本語」とは何かを説明したうえで、「やさしい日本語」の役割を論じなさい。
2. 第二言語習得における「習得順序」と「発達順序」について、その違いを、日本語習得の具体例を示しつつ説明しなさい。
3. 研究者の内省に基づく研究方法の利点と限界について複数の観点から論じなさい。また、内省に基づく研究方法の限界を克服する方法としてどのような研究方法があるか、あなたの考えを述べなさい。
4. 日本語学習者が日本語を産出する際に、不自然な産出になりやすい日本語の言語形式を一つとりあげ、習得上の困難点の生じる原因について論じなさい。論じる際にはその言語形式に関する以下の①～④に言及しなさい(順序は問わない)。  
① 言語形式に関する規則                      ② 先行研究  
③ 日本語学習者の産出困難点                ④ 産出困難点が生じる原因

### B:日本文化学

5. 日本人の他界観は、一般に①山中他界観、②海上他界観、③地中他界観の混在と言われている。このことについて、あなたの考えを述べなさい。
6. 柳田国男は方言周圏論を唱えたが、民俗要素も周圏論が当てはまることがあると考えていた。このことについて、あなたの考えを述べなさい。

2019年度 10月入学 金沢大学大学院人間社会環境研究科(博士前期課程)  
外国人留学生特別選抜 入学試験問題

( 2枚のうち 1枚目)

専攻名	国際学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	日本語教育学・日本語学・日本文化学		

I.用語選択問題

次のAの10問, Bの5問計15問の用語から、5問を選択して答えなさい。ただし、5問のうち少なくとも3問は、「日本語教育学」か「日本語学」を専門としたい人は「A:日本語教育学・日本語学」から、「日本文化学」を専門としたい人は「B:日本文化学」から選択しなさい。また、必ず5問選択し、6問以上選択してはいけません。

A : 日本語教育学・日本語学

- (1) 話し言葉の特徴と日本語教育
- (2) イメージョン教育
- (3) 協働学習
- (4) CBI (Content-Based Instruction)
- (5) 最近接発達領域 (Zone of Proximal Development)
- (6) 継続動詞と瞬間動詞
- (7) 敬意遞減の法則
- (8) 有生(有情)性
- (9) 共鳴音と阻害音
- (10) 拘束形態素

B: 日本文化学

- (11) 日本的経営
- (12) 穢れと祓え
- (13) 土居 健郎『甘えの構造』
- (14) エズラ・ヴォーゲル『ジャパン・アズ・ナンバーワン』
- (15) 『風姿花伝』

( 2枚のうち 2枚目)

専攻名	国際学専攻	選抜区分	一般・外国人・社会人
試験科目	日本語教育学・日本語学・日本文化学		

## II. 論述問題

以下の問題については、大学院で専門としたい分野に応じて、「日本語教育学」か「日本語学」を専門としたい人は「A:日本語教育学・日本語学」の4問から2問を選択し、「日本文化学」を専門としたい人は「B:日本文化学」の2問すべてに答えなさい。

なお、解答にあたっては、それぞれの問題に1枚の解答用紙を用いること。

### A:日本語教育学・日本語学

1. 日本は今後、さまざまな背景の外国人が増えることが予想されています。まずこの状況について説明しなさい。そしてこのような状況において、「やさしい日本語」とは何かを説明したうえで、「やさしい日本語」の役割を論じなさい。
2. 第二言語習得における「習得順序」と「発達順序」について、その違いを、日本語習得の具体例を示しつつ説明しなさい。
3. 研究者の内省に基づく研究方法の利点と限界について複数の観点から論じなさい。また、内省に基づく研究方法の限界を克服する方法としてどのような研究方法があるか、あなたの考えを述べなさい。
4. 日本語学習者が日本語を産出する際に、不自然な産出になりやすい日本語の言語形式を一つとりあげ、習得上の困難点の生じる原因について論じなさい。論じる際にはその言語形式に関する以下の①～④に言及しなさい(順序は問わない)。
  - ① 言語形式に関する規則
  - ② 先行研究
  - ③ 日本語学習者の産出困難点
  - ④ 産出困難点が生じる原因

### B:日本文化学

5. 日本人の他界観は、一般に①山中他界観、②海上他界観、③地中他界観の混在と言われている。このことについて、あなたの考えを述べなさい。
6. 柳田国男は方言周圏論を唱えたが、民俗要素も周圏論が当てはまることがあると考えていた。このことについて、あなたの考えを述べなさい。